

重点事業1 防災行政無線施設・設備災害復旧（防災行政無線のソーラー化等停電時対策含む）
 [実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 （課題）	防災行政無線は、同報系180局中41局、移動系79局中16局が流失・破損しています。									
事業概要	流失・倒壊した同報系防災行政無線の屋外拡声子局をデジタル通信方式とし、電源も電力が回復していない所への設置となることから、太陽光発電装置を導入するものです。また、デジタル通信方式での復旧となることから、中継局についてもデジタル局化し、操作卓3局をデジタル・アナログ併用方式に変更を行い、既存の屋外拡声子局の蓄電池を併せて交換するものです。なお、流失した戸別受信機及び移動系防災行政無線の復旧と併せ、難聴地域についても点検し改善を図ります。									
実施期間	H23年度～H32年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	実施設計 デジタル局設置 アナログ局電池交換・電源設置		戸別受信機設置 屋外子局建替							
		難聴地域の 再点検・改善								
財源構成	国・市									
区 分	復旧									

重点事業2 災害情報の把握伝達システムの整備
 [実施主体：市、実施地域：全域]

現 状 （課題）	災害情報の把握伝達のために、防災行政無線、ホームページ、防災ツイッター、エリアメール、被災者支援メール、防災FM、潮位・津波観測システム、宮城県総合防災情報システム、沖合波浪計を活用しています。									
事業概要	情報発信の方法・内容及び情報共有のあり方について検討するなど、被災時における情報伝達体制の見直しを図ります。 （掲示板、避難所、ツイッター、携帯メール、けせんぬまさいがいFM・けせんぬまもとよしさがいFMの活用 ほか） （衛星携帯電話、監視カメラ 等々の整備）									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	情報把握・伝達システムの整備 情報共有のあり方検討									
財源構成	市									
区 分	復旧・創造的復興									

重点事業3 潮位津波観測等災害復旧

[実施主体：市、実施地域：全域]

現 状 (課題)	潮位観測システムが倒壊・流失・破損及び回線断線、津波観測装置が破損及びケーブル断線しています。									
事業概要	被災した潮位津波観測システムの復旧を行います。									
実施期間	H23年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	システム復旧									
財源構成	市・民間等									
区 分	復旧・創造的復興									

重点事業4 情報の共有体制づくり

[実施主体：市、実施地域：全域]

現 状 (課題)	震災後、「各避難所・市民の皆様へお知らせ」を発行し、また、避難所以外に避難している市民への情報提供を行うため、各世帯に5月1日から8月15日まで「広報けせんぬま災害臨時号」を、9月1日からは「広報けせんぬま」を発行しています。発災後の3月21日から市ホームページによる各種情報の提供などに努めるとともに、8月8日からはFacebook（フェイスブック）を活用した気仙沼情報の世界への発信を開始したところですが、より見やすく分かりやすい紙面づくりやページづくりが求められています。									
事業概要	市広報や市ホームページ・Facebook（フェイスブック）等を活用し、市民をはじめ被災地の外との正確な情報を共有する仕組みづくり（メディアセンターの設置など）による情報の共有化を図るため、情報発信改革プロジェクトを推進する専門統括組織を設置し、誰もが分かりやすい情報発信の仕組み・環境の整備に努め、発災時からの状況の変化やニーズ、復旧・復興に向けた施策・事業等について広く伝えるなど、ITを活用したネットワークづくりに取り組み、より積極的な広報活動を展開します。 また、市広報や市ホームページのリニューアルを適宜実施するとともに、情報の提供と市民の声を伺う広聴機会の創出のため、住民と行政との対話の場づくりに努めます。									
実施期間	H23年度～H32年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	正確な情報を共有する仕組みづくりの検討・実施									
	住民と行政との対話づくりの取り組み・実施 市広報・市ホームページのリニューアルを適宜検討・実施、Facebook（フェイスブック）の内容検討・実施									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

重点事業5 緊急時の携帯電話の通話環境の改善

[実施主体：携帯電話会社 実施地域：全域]

現 状 (課題)	災害発生時に停電や通信回線の飽和により、唯一の情報伝達手段である携帯電話の利用ができなくなったことから、救助や震災後の避難所への情報提供に支障を来しました。									
事業概要	災害時の通信環境の改善や携帯電話会社各社のアンテナ局の相互利用及び電源確保等について携帯電話会社に要望します。									
実施期間	H23年度～H24年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	緊急時の携帯電話の通話環境の改善要望									
財源構成										
区 分	創造的復興									

重点事業6 災害用備蓄倉庫・物資整備

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	大震災により、避難所の設置や備蓄物資の不足、情報収集等に支障を来しました。									
事業概要	避難所運営の教訓を踏まえ、避難所の設置・運営・備蓄物資等に関する見直しを行います。(地域防災計画の見直し) また、物資調達を可能とするための企業(大型商業施設含む)との協定締結の増加を図るほか、相互支援を可能とするための遠方自治体等との応援協定の締結を検討します。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	物資の備蓄 企業との協定締結 応援協定の締結検討									
財源構成	市									
区 分	復旧・創造的復興									

重点事業7 道路整備 [再掲]

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	避難道路の幅員ならびに路線数が不足していることから、避難する際に、渋滞及び通行不能な状況となっており、また、地震津波により落橋や被災した橋が多くあることから、道路整備と併せ橋梁の耐震化を図る必要があります。									
	国道45号は被災し通行止めとなり、迂回路として国道284号・県道気仙沼陸前高田線が利用されたことから、交通システムの整備を図るため国県道の整備が必要です。 また、三陸道や大島架橋の整備に伴うアクセス道の整備が必要となっています。									
事業概要	産業振興や市民生活の利便性の向上・避難路の確保を図るため、環境に配慮するとともに、交通弱者や自転車通行へも配慮した歩行者避難ルートや歩道の整備、自動車での避難道路、迂回路、アクセス道路、高台への駐車スペースの確保などの検討・整備を行います。									
	また、橋梁の増設や耐震化を図ります。 一関・気仙沼間の自動車専用道路の新設及び一般国道・県道の整備は国、県に要望してまいります。									
実施期間	H23年度～H28年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	計画・協議		用地買収・工事							
		測量・設計								
財源構成	国・市									
区 分	復興									

重点事業8 命を守ることを第一とした津波避難施設等の整備

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	地震及び津波によって多くの尊い命が失われるとともに、家屋の損壊、ライフラインの寸断など甚大な被害を被りました。									
	避難者が2万人を超すなど、指定避難所以外の避難所が設置されました。									
事業概要	高台への避難ルートの確保、整備とともに、臨海部における津波時一時避難ビル確保のための整備について検討を行います。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	高台への避難ルートの確保、整備 臨海部における津波時一時避難ビル確保の検討									
財源構成	市									
区 分	復旧・創造的復興									

重点事業9 指定避難場所（避難ビル含む）の見直し

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	指定している避難場所の一部が被災しています。									
事業概要	長期避難及び避難者への対応を考慮した避難場所（グラウンド、高台等）及び津波時一時避難ビルの整備の検討を行います。									
実施期間	H23年度～H24年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	避難場所及び一時避難ビルの整備の検討									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

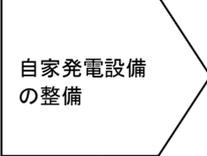
重点事業10 緊急時に備えた井戸水や小川の活用等

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	プールや小川を活用しての可搬式浄水器を災害時を想定し孤立集落（大島）に設置しています。									
事業概要	緊急時において、飲料水を確保することができるよう、利用可能な井戸水や小川の調査を行います。 活用可能な井戸水・小川について保全を図ります。 また、海水の淡水化やろ過による飲料水については、今回の震災時に機器を借用した団体との連携を密にするなど、確保に努めます。									
実施期間	H23年度～H26年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	井戸水・小川の調査・保全 飲料水の確保									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

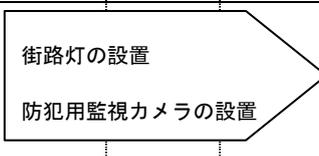
重点事業11 庁舎の自家発電設備整備等停電時対策

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	震災に伴う停電により、市庁舎等の機能が長期間停止しました。									
事業概要	災害対応を実施するため、停電時に対応できるよう、市庁舎、支所、出張所に自家発電設備を整備します。									
実施期間	H23年度～H24年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	 自家発電設備 の整備									
財源構成	市									
区 分	復旧・創造的復興									

重点事業12 防犯施設整備

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	街路灯（道路照明灯）や防犯灯が流出・破損しているため、夜間の通行に支障をきたすとともに、犯罪発生に対する不安が増えています。									
事業概要	被災した防犯灯・街路灯の復旧を行うとともに、犯罪防止や災害時の避難誘導等に活用する防犯用監視カメラの整備を行います。									
実施期間	H25年度～H27年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
			 街路灯の設置 防犯用監視カメラの設置							
財源構成	国・市									
区 分	復興・創造的復興									

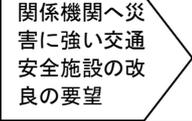
重点事業13 災害時要援護者対策の推進（防災のバリアフリー、高齢者・子ども・障害者の安全対策） [実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	共助としての災害弱者対策を進めてきたが、今災害の検証を踏まえ、予防及び災害後の共助について体制の強化が求められています。									
事業概要	災害時要援護者への情報伝達体制や避難支援体制の整備を図ります。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	災害時要援護者への情報伝達体制や避難支援体制の整備									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

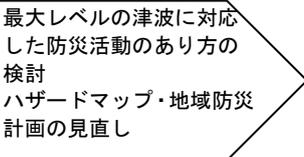
重点事業14 自動車による避難及び夜間における避難のあり方検討
[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	自動車による避難で道路が渋滞し、多数被災しました。 停電したことにより、夜間の避難・移動が困難でありました。									
事業概要	高台への歩行避難ルート確立、自動車による避難のあり方を検討するほか、夜間における避難のあり方を検討します。 また、従来の避難訓練に加え、自動車や夜間の避難訓練も実施します。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	避難のあり方検討 避難訓練の実施（自動車避難訓練、夜間避難訓練含む）									
財源構成										
区 分	創造的復興									

重点事業15 災害に強い交通安全施設整備
 [実施主体：県 実施地域：全域]

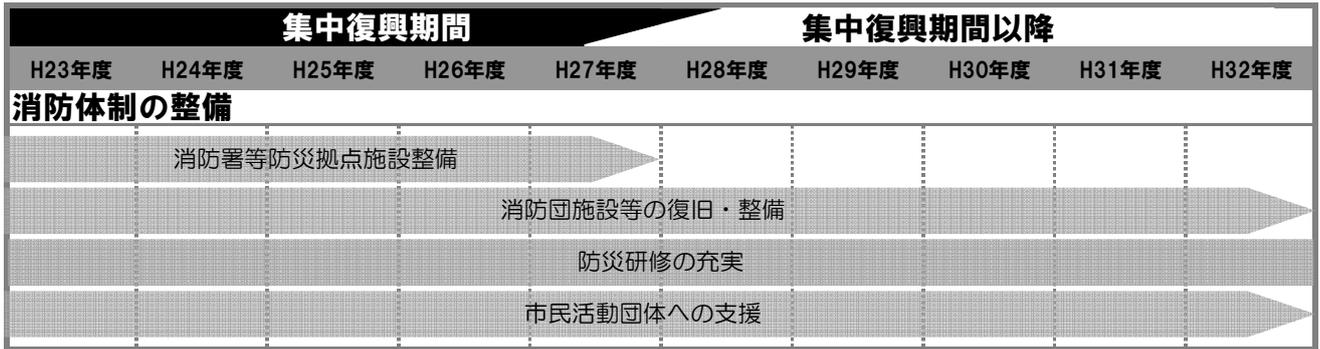
現 状 (課題)	津波により信号機が流失・破損したことから、自動車等の交通渋滞が発生し避難に支障を来たしました。									
事業概要	関係機関に対し、災害に強い信号機や道路標識などの交通安全施設の改良を要望するとともに、市においてもガードレールや道路反射鏡などの設置を進めます。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
										
	交通安全施設の設置									
財源構成	県									
区 分	創造的復興									

重点事業16 最大レベルの津波に対応した防災活動のあり方の検討
 [実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	過去の災害を踏まえ、宮城県沖地震（連動型）を対象とした防災活動を進めていました。									
事業概要	甚大な被害をもたらした3・11東日本大震災に基づき、最大レベルの津波に対応した防災活動のあり方など災害時の検証を踏まえ、ハザードマップや地域防災計画の見直しを行います。									
実施期間	H23年度～H25年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
										
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

2 消防体制の整備

- 気仙沼・本吉地域広域行政事務組合と協議しながら、被災した消防施設の復旧・整備を進めます。また、被災した消防団施設の復旧・整備を進めるとともに、交通指導隊、防犯協会、災害ボランティア、NPOなど関係団体との平時からの情報共有化や災害時に対応した連携が必要なことから、研修や市の取組の周知、さらに災害ボランティアの活動拠点の確保に努めます。



重点事業1 消防署等防災拠点施設整備

[実施主体：国 実施地域：気仙沼地域]

現 状 (課題)	消防庁舎6所中、2所全壊、4所が一部損壊しています。 消防車両3台が水没、消防艇1艇が流失・焼損しています。									
事業概要	消防署等防災拠点施設の整備を行います。									
実施期間	H23年度～H27年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	消防署等防災拠点施設の整備									
財源構成	国									
区 分	創造的復興									

重点事業2 消防団施設等の復旧・整備

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	消防屯所95所中、33所が流出、3所が半壊しています。 消防ポンプ自動車等消防車両85台中13台が流出、小型動力ポンプ積載車等小型動力ポンプ86台中21台が流出しています。 消防水利の消火栓217所が流失、防火水槽31所が破損しています。									
事業概要	①被災し流失した制服や消防ホース等の復旧を行います。 ②被災した消防車両(12台)及び小型動力ポンプ(10台)の復旧を行います。 ③被災した消防屯所(32所)等の復旧を行います。(再編整備、用地選定、取得) ④被災した消防屯所(47所)の建て替えを行います。									
実施期間	H23年度～H32年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	災害防ぎよ用 資機材整備 安全装備品整備	消防屯所建て替え								
	消防車両再整備 小型動力ポンプ 再整備									
	消防屯所整備 防火水槽整備									
財源構成	国・県・市									
区 分	復旧									

重点事業3 防災研修の充実

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	必要に応じて各々の防災関係団体への防災研修を実施してきています。									
事業概要	災害時に対応した連携のため、交通指導隊や防犯協会、ボランティア団体等の防災関係団体に対する防災研修の充実を図ります。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	関係団体への防災研修の実施 関係団体合同による防災研修の実施									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

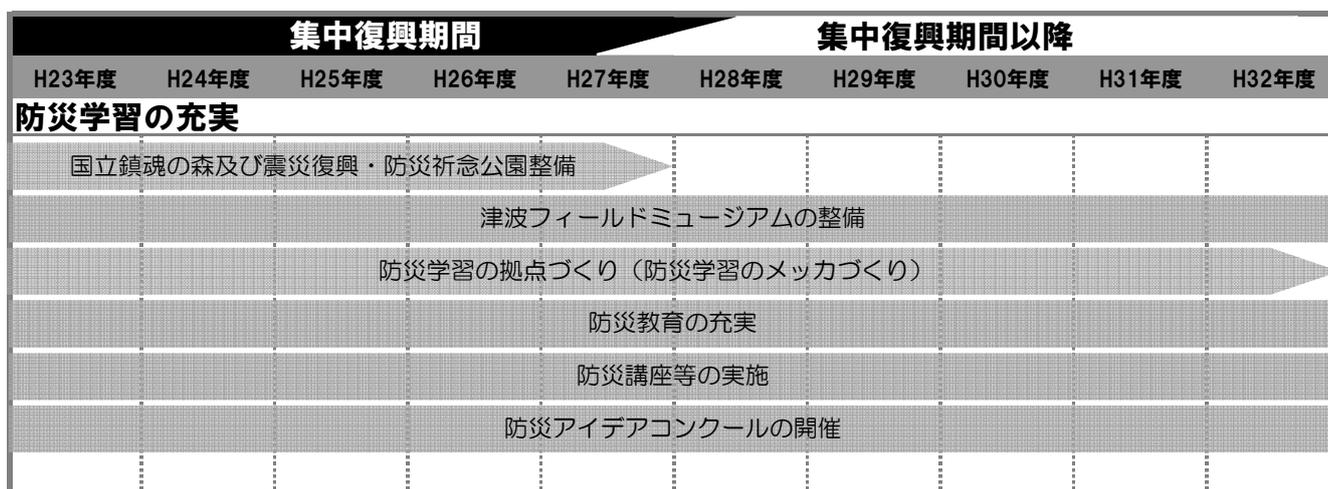
重点事業4 市民活動団体への支援

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	震災後、市外からの多くの復興支援のボランティア団体を受け入れていますが、各団体間の調整が図られず、重複した仮設住宅への訪問やイベント開催などの偏りが見られるとともに、ボランティア団体の支援拠点の確保が課題となっていました。									
事業概要	市は気仙沼市社会福祉協議会ボランティアセンターや市内の市民活動団体、復興支援のボランティア団体との情報の共有、課題の検討、支援ルール作りのため連携会議を開催するほか、各地区に支援の偏りが無いよう各団体の活動のコーディネートを行うとともに、若者の復興活動への参加促進やコミュニティづくりを得意とするボランティア団体の支援拠点の確保に努めます。									
実施期間	H23年度～H32年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	市民活動団体・復興ボランティア団体のコーディネート 連携会議の開催 ※必要に応じて開催									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

3 防災学習の充実

- 犠牲者への弔いと後世に語り継ぐための鎮魂の森及び震災復興・防災祈念公園の整備や災害状況の保存など防災学習の拠点づくりを進めるとともに、災害に強いまちづくりに向け、より実践に即した防災教育、防災講座等の実施、防災アイデアコンクールの開催など防災学習の充実を図ります。



重点事業1 国立鎮魂の森及び震災復興・防災祈念公園整備〔再掲〕

[実施主体：国 実施地域：全域]

現 状 (課題)	震災に伴う津波により330屯の船が約800m流され、陸上に揚げられています。									
事業概要	犠牲者への弔いと後世に語り継ぐための鎮魂の森及び震災復興・防災祈念公園の国による整備を求めています。									
実施期間	H23年度～H27年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	鎮魂の森及び 祈念公園整備									
財源構成	国									
区 分	創造的復興									

重点事業2 津波フィールドミュージアムの整備

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	唐桑半島ビジターセンターを利・活用し、住民や関係団体との連携のもと、地域の自然・過去の災害・文化の伝承を通じ、地域の活性化と防災力の向上を図っています。									
事業概要	現地散策とデータの活用により深く学習する津波フィールドミュージアムの整備を行います。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	津波フィールドミュージアムの整備									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

重点事業3 防災学習の拠点づくり（防災学習のメッカづくり）

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	防災講座27回、防災教育22回、防災訓練5回、及び防災講演会やフェスタ、シンポジウムなどを15回開催しています。（平成22年度）									
事業概要	災害状況の一部保存、震災モニュメントの整備を行います。									
実施期間	H23年度～H32年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	<p>災害状況の保存 震災モニュメントの整備</p>									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

重点事業4 防災教育の充実

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	大震災の記憶が薄れることなく後世に伝える仕組みを築くと共に、子どもたちの自然災害に対する畏敬の念を育て、学校教育における防災教育の充実を図るために、教職員の防災・減災意識をさらに高める必要があります。									
事業概要	<p>教職員の防災・減災意識を高めるために、防災教育講座を定期的実施します。また、防災教育主任を計画的に育成し、各小・中学校に配置します。</p> <p>気仙沼市教育研究員制度を活用し、防災マニュアルや防災教育プログラム、防災マップの開発・作成を行います。</p> <p>また、南三陸リアス・ジオプロジェクト、防災アイデアコンクールを実施します。</p>									
実施期間	H23年度～H28年度									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度
	<p>防災講座の実施 防災教育主任の育成</p> <p>方策検討 → 防災プログラムの検討・防災マップ他の作成 南三陸リアス・ジオプロジェクト防災アイデアコンクールの実施</p>									
財源構成	県・市									
区 分	創造的復興									

重点事業5 防災講座等の実施

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	防災講座27回、防災教育22回、防災訓練5回、及び防災講演会やフェスタ、シンポジウムなどを15回開催しています。(平成22年度)									
事業概要	地域の防災意識啓発に寄与するため、様々な手法により講座等を行います。									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	防災講座等の実施									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									

重点事業6 防災アイデアコンクールの開催

[実施主体：市 実施地域：全域]

現 状 (課題)	出前防災教室や、夏・冬季の防災イベントにおいて子どもたちが関心を持つよう趣向を凝らした内容で行ってきています。									
事業概要	子どもたちの防災意識の維持・向上を図るため、防災アイデアコンクールを開催します。 例)・災害に強いまち(イラスト・模型) ・オリジナル防災ずきん ・サバ・メシ(サバイバルメシ炊き:カセットコンロを使用) ・防災マップ ・防災劇									
実施期間	H23年度～									
取組内容	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	
	防災アイデアコンクールの開催									
財源構成	市									
区 分	創造的復興									